

第110期 報告書

[平成21年4月1日～平成22年3月31日]

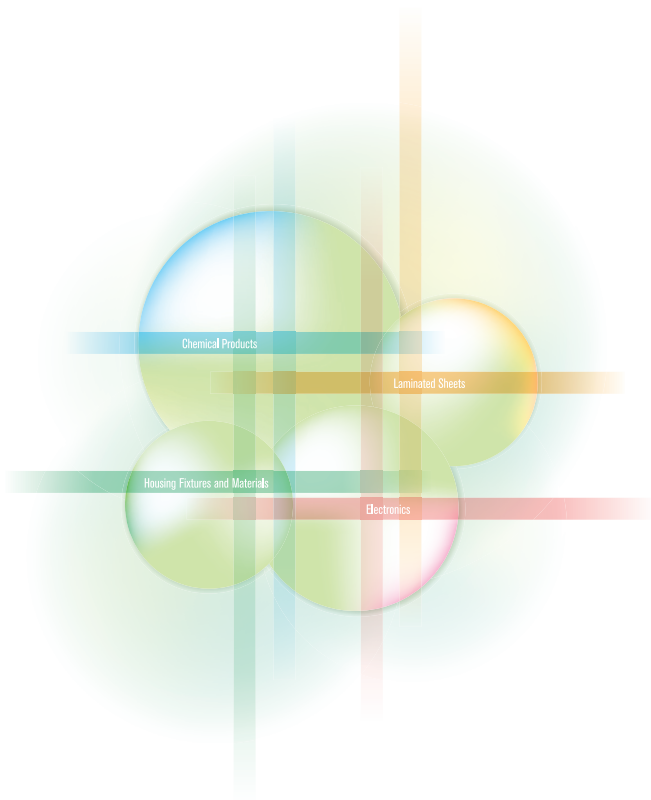


Chemical Products

Laminated Sheets

Housing Fixtures and Materials

Electronics



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 企業活動のご案内	5
■ 財務情報	7
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 会社の概要	11
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループ第110期(自 平成21年4月1日至 平成22年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融危機に端を発した景気低迷が続くなか、緊急経済対策の効果や海外経済の改善を背景に、輸出を中心に持ち直しの動きが見られ、企業収益も改善の動きが見え始めました。しかしながら、自律性に乏しく、厳しい雇用情勢やデフレの影響など、引き続き厳しい状況が続きました。

建築業界におきましては、住宅ローン減税の拡充の効果などにより新設住宅着工に下げ止まりの兆しが見え始めましたが、雇用への不安や個人所得の低迷、設備投資の減少などの先行き不透明感から、住宅・非住宅とも低調に推移いたしました。

このような厳しい経営環境のなか、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化に努めるとともに、環境配慮型商品をはじめ、市場ニーズにマッチした新商品の開発に積極的に取り組みました。また、経営資源の効率的な活用に一層の努力を続けるとともに、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上とコスト削減に努めました。

このような結果、当連結会計年度の売上高は80,984百万円(前連結会計年度比7.6%減)、営業利益は7,436百万円(前連結会計年度比6.1%増)、経常利益は7,644百万円(前連結会計年度比8.8%増)、当期純利益は4,452百万円(前連結会計年度比24.2%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、中国を含む新興国の経済成長を背景に企業収益の改善が続くものと思われませんが、日本経済の回復力はまだ弱く、長引くデフレの影響や厳しい雇用情勢など、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続くものと思われま。建築業界におきましては、設備投資や住宅市場に下げ止まりの兆しが見えますが、本格的な需要の回復には、まだ時間がかかるものと思われま。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、営業活動の強化や顧客ニーズに基づいた新商品開発を徹底するとともに、成長製品・新規分野の確実な育成、海外市場での競争力強化、収益体質の向上などを図り、持続的に事業を拡大しうる体制を構築してまいります。また、環境対応とコンプライアンスへの取り組みを一層強化するとともに、CSR(企業の社会的責任)を重視した経営を更に進めることにより、社会から信頼される企業を目指し邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役会長

渡辺 修



代表取締役社長

小野勇治

セグメント別のご案内

化成系セグメント

接着剤系商品は、自動車部材用途や太陽電池向けの接着剤が順調に売上げを伸ばし、環境配慮型商品である弾性接着剤も、壁や床の内装仕上げ用として好評でしたが、木工・家具向けの接着剤は、市場の低迷により厳しい状況で推移いたしました。樹脂系商品は、改修市場への拡販を図った結果、コンクリート構造物補修用樹脂が好調に推移するとともに、ウレタン系塗床材「アイカビュール」は優れた耐熱性能や作業性から、学校・病院・レストランの厨房室や食品工場などの床に採用され売上げを伸ばすことができました。しかし、外装・内装仕上げ塗材「ジョリパット」は、改修専用の新商品を市場に投入し拡販に努めましたが、住宅市場の低迷により厳しい状況で推移いたしました。

なお、利益面につきましては、原価低減と経費削減などに努めた結果、収益は改善されました。

この結果、当セグメントの売上高は22,767百万円(前連結会計年度比10.7%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は1,707百万円(前連結会計年度比85.5%増)となりました。



ジョリパット(外装・内装仕上げ塗材)

物件名: 宮崎台の家
設計: 佐久間徹設計事務所
撮影: Yoshiko Miki



環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイカエコエコボンド

建装材セグメント

建装材商品は、汎用性の高い単色メラミン化粧板を刷新した「カラーシステムフィット」が上質感や使いやすさが高い評価を受け好調に推移するとともに、指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつ高意匠メラミン化粧板「セルサス」は、その特性に加え新柄を追加したことにより売上げを伸ばすことができました。

なお、厳しい市場環境のなか、メラミン化粧板・不燃化粧材・フィルムシート材等の柄連動システムを機軸に販売の強化に努めましたが、当セグメントは、新設住宅着工戸数の大幅な減少や、店舗・商業施設などで新規出店や改装の凍結・中止が相次ぐ市場環境の影響を受け、低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は21,596百万円(前連結会計年度比11.9%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,563百万円(前連結会計年度比14.0%減)となりました。



アイカラビアン
アイカラビアンボリ
Altyno(オルティノ)

物件名: AOKI秋葉原店
企画: 株式会社AOKI
設計: 株式会社丹青社
撮影: 長谷川 浩
(カウンター・壁面への使用例)



CELSCUS(セルサス)
アイカラビアンボリ
アイカマールスボード

物件名: 株式会社春番屋 につくい亭
(店舗への使用例)

住器建材セグメント

不燃化粧材「アイカセラー」は、メラミン化粧板との柄・機能の連動を図り、キッチン・洗面などの住空間をはじめ、商業施設・教育施設への用途拡大に努めた結果、堅調に推移いたしました。インテリア建材は、「マーレスⅡクラスSシリーズ」がトレンド柄を生かした意匠が評価され売上げを伸ばすとともに、医療・福祉施設向けの機能引戸「UD(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」も市場のニーズにマッチし売上げを伸ばすことができたものの、住宅市場の低迷や価格競争の激化で苦戦を強いられました。また、カウンター商品も、集成カウンターやメラミン化粧板の特性を生かした各種カウンターに、人工大理石「デュポン™コーリアン®」を追加し、多様なニーズへの対応を図りましたが、市場の低迷を受け厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は25,174百万円(前連結会計年度比10.2%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,405百万円(前連結会計年度比0.7%減)となりました。



UD(ユニバーサルデザイン)
コンフォートシリーズ
(機能引戸)



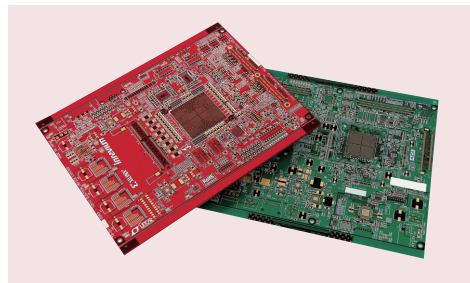
マーレスⅡ/クラスS

電子セグメント

プリント配線板は、高速伝送設計・電磁波障害対策などの分野で、高付加価値設計が市場で高い評価を得て回復基調が鮮明となった下半期には売上げを伸ばすことができましたが、半導体関連や通信機器・計測機器などを中心とした世界的な市況の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

また、電子材料は、デジタルカメラや光学フィルム用途向けのハードコート樹脂やタッチパネル・携帯電話端末用途向けの高機能フィルムが台湾や中国などアジア地域を中心とした需要の拡大に伴い売上げを伸ばすことができました。

この結果、当セグメントの売上高は4,872百万円(前連結会計年度比14.4%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は376百万円(前連結会計年度比12.0%減)となりました。



アイカプリント 配線板 (高速信号伝送基板)

その他セグメント

有機微粒子は、化粧品、液晶用光拡散材、産業資材用途が海外市場向けに好調でしたが、国内市場向けの光拡散材用途は需要の低迷により厳しい状況で推移いたしました。また、受託加工品である保存剤関係は減少いたしました。

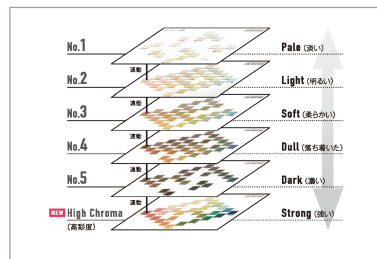
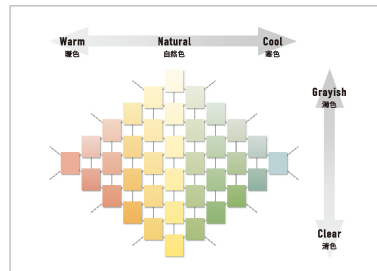
なお、前第3四半期連結会計期間より西東京ケミックス株式会社を新たに連結対象としたことにより売上高は増加しております。

この結果、当セグメントの売上高は6,574百万円(前連結会計年度比69.5%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は328百万円(前連結会計年度比172.8%増)となりました。

ジョリパットの新しい見本帳「カラーキューブ」

～高彩度なカラーを大幅追加、
選びやすいキューブ型のレイアウトに並び替え～

ジョリパットのカラーラインナップを大幅に見直し、「人気の高いNatural[自然色]を中心としたカラー展開」「定番のモノトーンカラー(白・グレー・黒)の充実」「不足していた高彩度カラーの充実」を実現するため、新色19色を追加し、全184色の新カラーシステム「カラーキューブ」に改編しました。これにより、選べる色の幅が広がるとともに、[暖色⇄寒色][清色⇄濁色][濃度]の軸で色を6x6x6のキューブ型に並び替えたことにより、より直感的に選びやすいカタログ構成としました。



マーレスIIシリーズ「スカイハイト(ドア、引戸)」

優れた表面物性により、美しいインテリア性を長年に渡って維持することができるマーレスIIシリーズに、「スカイハイト」が加わりました。天井まで届く開放的なスタイルと素材感を引き立たせるシンプルなデザインで個性あふれる空間を演出します。



名古屋大学に社会福祉経済学寄附講座を開設

医療・福祉施設の建築材料の製造販売に力を入れている当社は、現代日本の医療・福祉制度が抱える問題点に関する研究・調査を推進する名古屋大学の趣旨に賛同し、平成21年6月より5年間、社会福祉経済学寄附講座を開設いたします。本講座は超高齢化社会において日本が抱える社会的に大きな問題を幅広い観点から横断的に議論し研究する講座で、患者及び家族にとっても医療介護の従事者にとってもより良い広域の連携システムの構築を目指しています。

指紋レスメラミン化粧板「セルサス」

～アイテム拡充により更なる柄連動システムを実現～

意匠性が高く手垢や指紋跡が目立ちにくい特長をもつ「セルサス」は、発売から高い評価を得てきましたが、市場ニーズに応えるべく新たに木目柄・薄色柄を追加し、91アイテムまで拡充いたしました。これにより、不燃化粧材・フィルムシート材等との柄連動の幅が広がり、さらに幅広い分野・用途での使用が可能となりました。

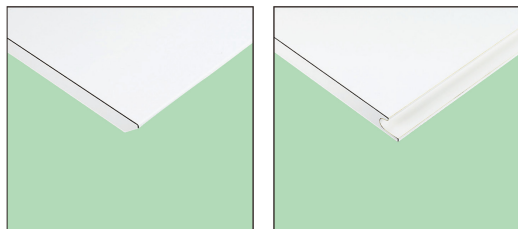


CELUS (セルサス)



手掛け扉タイプ「メラスクープ扉」

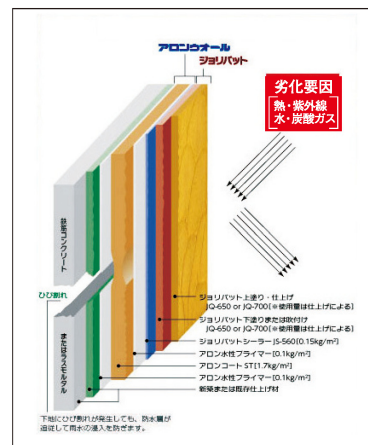
強度・硬さ・耐熱性などの基本性能に優れているメラミン化粧板を使用した扉に、新たに「メラスクープ扉」が登場しました。手掛け部分にも扉と同柄のメラミン化粧板仕上げを実現したことにより、油污れ、水跳ねが気になる場所にもお使いいただけるようになり、キッチン、洗面、収納の扉としてさらにバリエーションが広がりました。



〈手掛け部分のバリエーション〉

「アロンウォール ジョリパット工法」を共同開発

「アロンウォール ジョリパット工法」は、ジョリパットのもつ表情豊かな仕上がりりと永続する美しさに、「アロンウォール」(東亜合成株式会社)のもつ防水性を融合することにより、長寿命化とバリエーション豊かな美観の維持を両立させることができる画期的な工法です。今後、新築・改修分野などの外壁防水事業に求められる幅広いニーズに対応してまいります。



〈アロンウォール ジョリパット工法の工程図〉

連結決算

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	61,720	55,373
現金および預金	25,729	18,726
受取手形および売掛金	28,504	28,646
たな卸資産	5,336	5,731
繰延税金資産	867	693
その他	1,410	1,590
貸倒引当金	△127	△15
固定資産	27,800	28,957
有形固定資産	17,677	19,580
無形固定資産	1,322	1,889
投資その他の資産	8,801	7,487
投資有価証券	7,469	6,034
繰延税金資産	175	519
その他	1,470	934
貸倒引当金	△315	△0
資産合計	89,521	84,330

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	80,984	87,609
売上原価	58,100	64,647
売上総利益	22,884	22,962
販売費および一般管理費	15,447	15,955
営業利益	7,436	7,006
営業外収益	462	501
営業外費用	254	483
経常利益	7,644	7,024
特別利益	215	37
特別損失	229	935
税金等調整前当期純利益	7,630	6,126
法人税、住民税および事業税	3,368	2,131
法人税等調整額	△265	383
少数株主利益	73	26
当期純利益	4,452	3,585

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	18,562	17,824
支払手形および買掛金	12,635	12,468
短期借入金	507	492
未払法人税等	2,257	236
賞与引当金	1,124	1,218
その他	2,037	3,408
固定負債	2,070	1,027
長期借入金	933	—
繰延税金負債	7	6
退職給付引当金	337	287
その他	792	733
負債合計	20,632	18,852
純資産の部		
株主資本	67,566	64,908
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,781	13,745
利益剰余金	48,852	46,197
自己株式	△4,958	△4,925
評価・換算差額等	644	△26
その他有価証券評価差額金	846	200
繰延ヘッジ損益	△5	△10
為替換算調整勘定	△196	△216
新株予約権	23	18
少数株主持分	653	578
純資産合計	68,888	65,478
負債純資産合計	89,521	84,330

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成21年3月31日残高	9,891	13,745	46,197	△4,925	64,908	200	△10	△216	△26	18	578	65,478
連結会計年度中の 変動額												
剰余金の配当			△1,798		△1,798							△1,798
当期純利益			4,452		4,452							4,452
自己株式の取得				△941	△941							△941
自己株式の処分		36		905	942							942
自己株式の交付(新株予約権の行使)		△0		2	2							2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						646	5	19	671	5	75	752
連結会計年度中の 変動額合計	—	36	2,654	△33	2,658	646	5	19	671	5	75	3,410
平成22年3月31日残高	9,891	13,781	48,852	△4,958	67,566	846	△5	△196	644	23	653	68,888

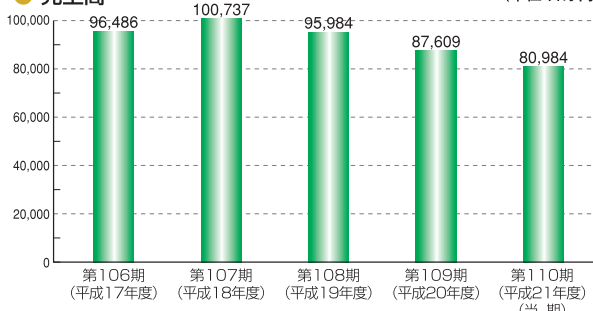
◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

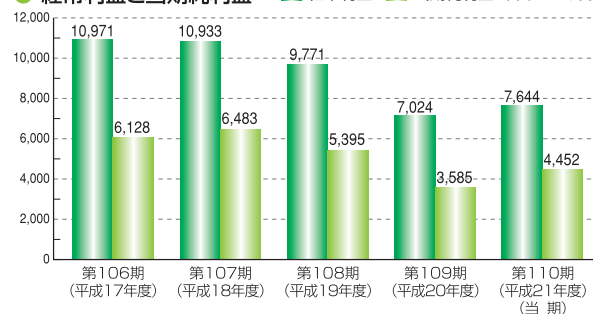
科 目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,455	9,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,818	△4,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,731	△3,557
現金および現金同等物に係る換算差額	△4	△105
現金および現金同等物の増減額	3,902	1,778
現金および現金同等物の期首残高	18,726	16,839
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	—	109
現金および現金同等物の期末残高	22,629	18,726

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●売上高(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益(単位:百万円)



単独決算

●貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第110期 (平成22年3月31日現在)	第109期 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	56,023	50,361
現金および預金	23,696	16,615
受取手形および売掛金	25,959	27,303
たな卸資産	3,572	3,799
繰延税金資産	679	497
その他	2,227	2,150
貸倒引当金	△110	△4
固定資産	24,911	26,042
有形固定資産	11,482	12,685
無形固定資産	1,048	1,619
投資その他の資産	12,381	11,737
投資有価証券	6,740	5,281
関係会社株式	3,425	3,425
繰延税金資産	121	497
その他	2,368	2,532
貸倒引当金	△274	△0
資産合計	80,935	76,403

●損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第110期 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	第109期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	71,367	79,959
売上原価	51,716	59,923
売上総利益	19,650	20,036
販売費および一般管理費	13,739	14,350
営業利益	5,911	5,686
営業外収益	698	741
営業外費用	345	213
経常利益	6,264	6,213
特別利益	204	20
特別損失	199	977
税引前当期純利益	6,269	5,256
法人税、住民税および事業税	2,753	1,740
法人税等調整額	△247	297
当期純利益	3,764	3,219

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第110期 (平成22年3月31日現在)	第109期 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	16,379	15,468
支払手形および買掛金	12,087	12,458
未払法人税等	1,892	97
賞与引当金	933	1,015
その他	1,466	1,897
固定負債	1,688	694
長期借入金	933	—
退職給付引当金	117	76
その他	637	618
負債合計	18,067	16,163
純資産の部		
株主資本	62,006	60,037
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,789	13,753
利益剰余金	43,283	41,317
自己株式	△4,958	△4,925
評価・換算差額等	837	184
その他有価証券評価差額金	842	195
繰延ヘッジ損益	△5	△10
新株予約権	23	18
純資産合計	62,867	60,240
負債純資産合計	80,935	76,403

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成21年3月31日残高	9,891	13,277	475	1,622	39,694	△4,925	60,037	195	△10	184	18	60,240
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△1,798		△1,798					△1,798
当期純利益					3,764		3,764					3,764
自己株式の取得						△941	△941					△941
自己株式の処分			36			905	942					942
自己株式の交付(新株予約権の行使)			△0			2	2					2
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)								647	5	652	5	657
事業年度中の変動額合計	—	—	36	—	1,966	△33	1,969	647	5	652	5	2,626
平成22年3月31日残高	9,891	13,277	512	1,622	41,660	△4,958	62,006	842	△5	837	23	62,867

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

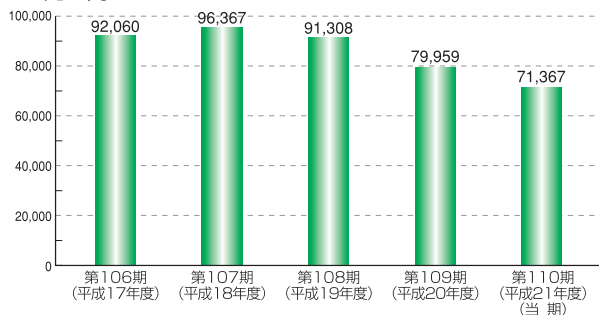
(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合 計
平成21年3月31日残高	190	16,976	22,527	39,694
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の積立	0		△0	—
圧縮積立金の取崩	△2		2	—
剰余金の配当			△1,798	△1,798
当期純利益			3,764	3,764
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計	△2	—	1,968	1,966
平成22年3月31日残高	188	16,976	24,496	41,660

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

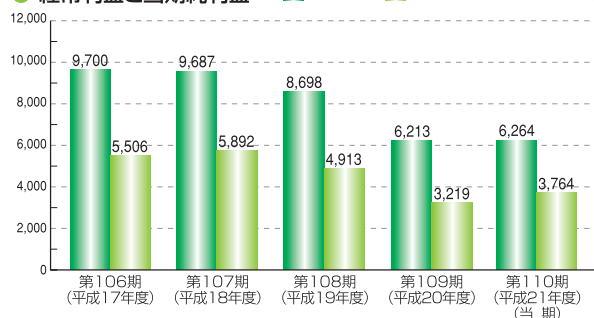
●売上高

(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益

■ 経常利益 ■ 当期純利益 (単位:百万円)



プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000[案内]
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県)

甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県)

広島工場(広島県)

[開発拠点] R&Dセンター(愛知県)

R&Dセンター福島(福島県)

R&Dセンター丹波(兵庫県)

[営業拠点] 札幌支店(北海道) 静岡支店(静岡県)

仙台支店(宮城県) 金沢支店(石川県)

盛岡支店(岩手県) 大阪支店(大阪府)

東京支店(東京都) 神戸支店(兵庫県)

埼玉支店(埼玉県) 京都営業所(京都府)

横浜支店(神奈川県) 広島支店(広島県)

千葉支店(千葉県) 岡山営業所(岡山県)

宇都宮営業所(栃木県) 四国支店(香川県)

北関東支店(群馬県) 福岡支店(福岡県)

新潟営業所(新潟県) 鹿児島営業所(鹿児島県)

名古屋支店(愛知県)

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床材、各種接着剤など

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材セグメント]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子セグメント]

プリント配線板、電子材料など

[その他セグメント]

有機微粒子、保存剤など

■連結子会社

[会社名]	[所在地]	[主要な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
西東京ケミックス株式会社	東京都	工業薬品・化学品等の販売
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッド社	インドネシア	建装材製造
昆山愛克樹脂有限公司	中国	化成品製造
瀋陽愛克浩博化工有限公司	中国	化成品製造販売
愛克樹脂貿易(上海)有限公司	中国	化成品・建装材・住器建材販売

取締役・監査役および執行役員

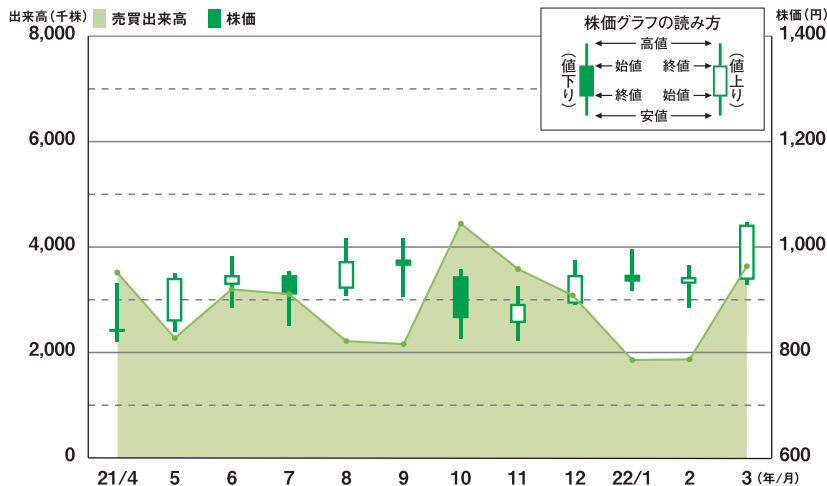
[代表取締役会長]	渡 辺 修
[代表取締役社長]	小 野 勇 治
[常務取締役]	岩 田 照 徳
[常務取締役]	森 永 博 之
[常務取締役]	伊 東 善 光
[取締役]	百 々 聡
[取締役]	大 村 信 幸
[常勤監査役]	野 田 近
[常勤監査役]	佐 治 一 良
◎[監査役]	松 浦 洋
◎[監査役]	福 井 清 晃
◎[監査役]	浦 部 康 資
[上席執行役員]	田 中 彰
[上席執行役員]	村 瀬 元 康
[上席執行役員]	岩 瀬 幸 廣
[執行役員]	岡 田 賢 児
[執行役員]	堀 田 益 之
[執行役員]	加 藤 義 昭
[執行役員]	小 瀬 村 久
[執行役員]	磯 貝 透

(注)◎印は、社外監査役であります。

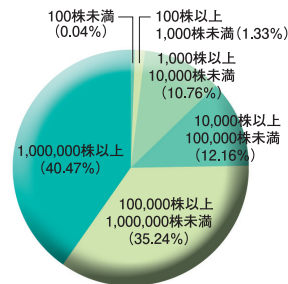
● 発行済株式の総数…69,890,664株

● 株主数…8,380名

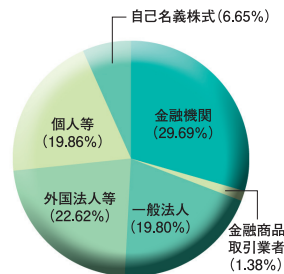
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



【所有株数別株式分布状況】



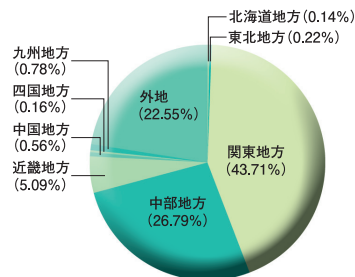
【所有者別株式分布状況】



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
イチゴアセットトラスト	4,846	7.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,511	3.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,062	3.16
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.86
アイカ工業取引先持株会	1,635	2.51
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントアメリカンクライアント	1,520	2.33
アイカ工業株式保有会	1,510	2.32
ザチエスマンハットンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,436	2.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,387	2.13
住友生命保険相互会社	1,318	2.02

【地域別株式分布状況】



※当社は、自己株式4,649千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
出資比率は、自己株式4,649千株を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

住まい空間を演出する

AICA

